

学習アドバイザー通信

エブリTIMES

タイムズ

「学習アドバイザー」から、受験勉強をがんばるみんなのために、毎月勉強をうまく進めるコツや志望校合格に役立つ情報をお知らせしていきます。 禁無断転載

※保護者の方にご覧いただきたい情報は、「Z会おうち学習ナビ」に掲載しています。
<https://www.zkai.co.jp/z-navi/tag/a5-topic>



ふくしゅう 復習マスターになろう!



学習アドバイザー
まーさ先生

みんなは、毎日の学習のなかで、復習をしていますか？

復習は勉強を進めていくうえで、とても重要なこと。

復習までは手がまわらないという人も、復習がきちんと計画に入っている人も、ここで一度復習のやり方について確認しておきましょう。

ステップ1 毎日の学習に復習をプラス!

復習が大切だっていうのはわかっているけど、毎日の勉強が大変でついつい復習は後回し……。こんな人って実は多いんじゃないでしょうか。だから、毎日の勉強のなかで必ず復習するクセをつけてしまいましょう!いつもの学習に復習をプラスすることがあたりまえになれば、復習の時間をとるのも大変ではなくなりますよね。



『エブリスタディ アドバンスト』の復習をしよう

- その日に取り組む問題を解き終わったら、きちんと答え合わせをして、わからないところはどこなのか、確認しましょう。
とくに、「答えと考え方」は答えが書いてあるだけでなく、どうやって考えればいいのかを教えてください。答えが合っていたとしても、もっと簡単な解き方が書いてあることもあるから、きちんと読むようにしましょう。
- まちがえた問題に、もう一度取り組みましょう。わからなかった問題やまちがえた問題は、その日のうちに正しく解答できるようにしておくことが大切!「答えと考え方」をしっかりと読んで、何も見ずに自分の力で解答が書けるよう解き直しましょう。
- 最後に、今日の学習のふり返りをしましょう。今日一日どんなことを勉強したか、ざっと授業ノートなどをながめてみましょう。「こんな問題が解けた!」「この言葉を覚えたぞ」と思い返すのも立派な復習ですよ。

ステップ2 自分の苦手を知る！

解いてから時間がたっている「月例テスト」や模試^{もし}は、復習ツールとしても大活やく！「月例テスト」や模試で自分の苦手を見つけたら、そこを復習して、得意^{とくい}に変えましょう。「月例テスト」や模試の復習方法をマスターして、効率よく復習^{こうりつ}しましょう！



「月例テスト」の復習をしよう

① 答案の中身をチェックする

問題と答案にざっと目をとおして、どんな内容^{ないよう}だったか思い出しましょう。まちがえていた問題には、『エブリスタディ アドバンスト』の問題のところに印をつけておき、なぜまちがえてしまったのか確認してみましょう。

② 「答えと考え方」を読む

原因^{げんいん}を確認したら、その問題の「答えと考え方」を読みましょう。まちがえていた問題の解説をすべて読んだら、次は、正解した問題の解説も読んでおくと、さらにしっかり理解できますよ。

③ 「答えと考え方」を読んでもわからなかったら……

まちがえた問題と同じ単元の要点をもう一度読み返してみましょう。授業映像^{えいそく}を見るのもよいですね。時間に余裕^{よゆう}があれば、例題や練習問題の「考え方」も読んでみましょう。

④ まちがえた問題に再^{さい}チャレンジ！

「月例テスト」でまちがえてしまった問題にもう一度ちょう戦しましょう。少し時間を空けて、次の日などにやるのもおすすめです。

もし、またまちがえてしまったら、もう一度、①～④にチャレンジしましょう。今度は問題や「要点」、「答えと考え方」を声に出して読んでみると頭に入りやすいですよ。

ステップ3 復習には「何度も取り組む」！

毎日復習をしても、「あれ？ちゃんと覚えたはずなのに……」と思うことがありますよね。復習というのは、何度も取り組めば必ず自分の力として定着していきますから、忘れてしまったことは気にしないでくださいね。入試本番の日に、つけた実力がきちんと発揮^{はっき}できるように、くり返し復習しましょう。



『毎日練習ブック』『エブリスタディ アドバンスト』に再チャレンジ

- 一度取り組んだ『毎日練習ブック（国語・算数）』や、「要点」「練習問題」にも、何日か空けて、もう一度取り組みましょう。何度も取り組むことで、確実に知識^{ちしき}が定着します。

- 「答えと考え方」を読んでもわからなかった問題なのに、時間をおいて次の日などに考えてみると、すっと頭に入ってくることって、けっこうありますよね。どんなに考えてもわからない問題は、いったんはなれてみて、時間をおいてからもう一度初めから考え直してみましよう。
- 「答えと考え方」を読んで理解できても、一度まちがえた確認問題や練習問題は、あとでチェックするために印をつけておきましょう。
印をつけた問題は、時間をおいて何回もくり返し解くようにしましょう。3回やってまちがえなかったら、その問題はもうだいじょうぶ。似たような問題にも、自信をもって取り組みましょう。

「月例テスト」や模試の問題に再チャレンジ

- 「月例テスト」や模試の問題のなかには、本番の入試の問題と同じくらい難しい問題があります。前に似たような問題をやったことがあるのに、本番の試験でもまちがえた……なんてことは、絶対にさげたいですよね。そのためには、一度やった「月例テスト」や模試はしっかりやり直しましょう。
- 「月例テスト」や模試の問題は全部できるようにすることが大切！ 初めは難しい問題でも、何度もやっているうちにできるようになるから、理解できるまでくり返し取り組みましょう。また、一度取り組んだ問題に、期間を空けて取り組むようにすると、確実に解けるようになったかチェックできますよ。

ステップ4 時間・教科に合った復習法を見つける！

何度もやらなければいけない復習だからこそ、いそがしい毎日のなかでは、効率的にやりたいですよね。時間があるとき、時間がないとき、得意な教科、苦手な教科でそれぞれに合わせた復習方法を考えましょう。



5分でできる復習をしよう

学校へ行くまで、好きなテレビ番組が始まる前、夕ご飯ができるまで、一日のなかには、意外とちょっとしたすき間時間を見つけられます。そんなときには、次のことをやってみましょう。

- 国語** 漢字を覚える、昨日覚えた漢字をまちがえないで書けるかチェックする
- 算数** 計算問題に取り組む
- 理科** 習った用語の暗記、暗記したことをきちんと覚えたか確認
- 社会** 習った用語・地名・場所などの暗記、暗記したことをきちんと覚えたか確認

時間があるときに復習をしよう

- 毎日の学習で復習する時間がとれなかったときには、時間ができたときにまとめて復習をしましょう。今までのテキストや「月例テスト」のまちがえた問題に取り組むことから始めるといいですよ。あとでまとめてやることは、「わかったつもり」になっていた問題の確認にもなりますよね。
- 復習用ノートを作りましょう。習ったばかりの漢字や新しく出てきた理科の用語、覚えたほうがよさそうな社会の地名、何回やってもまちがえてしまう問題などを、自分でノートに書き出してみよう！ 社会の図や表で大事だと思うものは、授業ノートをコピーしてノートを作ってもいいですね。「Z会小学生アプリ」の「要点」に書かれていた大事なところを、そのノートに書きこんでいけば、さらにくわしいノートができますよ。



これからは今まで学習してきたことを理解していないと
わからない問題も出てくるし、これから先に学習することは
本番の入試でも出題される大切なことばかり。

今からしっかり復習することを習慣しゅうかんにしておけば、
入試本番でもあわてることはないですよ。
今回しようかいたことを参考にして、
復習マスターになって、高得点をめざしましょう！

